

熱田小児科クリニック 掲示板

7月のテーマ

『ヒトメタニューモウイルス』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

ヒトメタニューモウイルスは、RSウイルス感染と症状がよく似ているといわれています。また、3月から6月にかけて流行がよく見られ、1～2歳からの初感染が多く、5歳までにほとんどの子どもが感染するといわれています。

健康な成人および年長の小児では、通常疾患は軽度で再感染を繰り返します。

症状…高熱、咳、鼻汁

重症例では、喘鳴（ゼーゼー）を伴う気管支炎、細気管支炎、肺炎、急性中耳炎を引き起こします。また、喘息発作の誘発原因となります。

治療は…ヒトメタニューモウイルスの治療には特効薬がなく、一般的な気管支炎、喘息発作の治療や水分補給を行い、咳や発熱の症状を緩和する対処療法だけになります。



～津病児デイケアルーム「ひまわり」からのお知らせ～

津市に移住する生後57日から小学校6年生で病氣中、病氣回復期のお子さんをお預かりするサービスを「ひまわり」では行っています。

事前登録が必要となりますが、お困りの方があれば一度お気軽にお問い合わせ下さい。(TEL 059-229-8808)